

令和5年盛岡市二十歳のつどい開催結果

◇ 概要

令和5年1月8日（日）14時から、盛岡タカヤアリーナを会場に開催されました。当日は、対象者 2,003人、その御家族 263人が出席しています。

二十歳の方によって組織された盛岡市二十歳のつどい実行委員9人をはじめ、市内社会教育団体や多数のボランティアの皆さんによる協力を得て運営されましたほか、協賛各社の御協力をのもと開催いたしました。

◇ 式典の様子



◇ 記念式典（令和5年1月8日(日)14時～14時30分）

【司会：盛岡市二十歳のつどい実行委員 田口 ころろ 渡辺 菜月】

- 1 開式のことば
盛岡市二十歳のつどい実行委員長 坂本 侑善
- 2 国歌斉唱
盛岡市民歌斉唱
- 3 二十歳を祝うことば
盛岡市長 谷藤 裕明
- 4 励ましのことば

盛岡市議会議長 竹田 浩久

5 二十歳の決意

二十歳代表 十良澤 優至、尾形 美侑

6 閉式のことば

盛岡市教育委員会教育長 多田 英史

○ 二十歳を祝う言葉

二十歳を祝して 盛岡市長 谷 藤 裕 明

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。本日は誠におめでとうございます。皆さんがこのように逞しく、健やかに成長されたことを、心からお祝い申し上げますとともに、今日まで深い愛情を持ってお子さんを立派に育て上げられた保護者の皆様にも重ねてお喜び申し上げます。

また、御多用の折にもかかわらず、御臨席を賜りました多数の来賓の皆様、開催に当たりお力添えをいただいた多くのボランティアの皆様にも、深く感謝申し上げます。

ここにお集まりの皆さんは、社会人として職業に就かれている方、あるいは、学業に励んでおられる方など、様々な場面で社会との関わりを持たれていることと思います。二十歳(はたち)という人生の大きな節目を迎え、今後は、大人として自身の行動に責任を持つこと、精神的・経済的に自立すること、そして何より自らの意思で社会に参画することが求められます。

まもなく発生から約三年が経過しようとしている新型コロナウイルス感染症は、未だに大きな影響を及ぼしておりますが、特に皆さんは、青春時代に大切な行事の中止を経験するなど、多くの制約を強いられた世代です。そんな皆さんに、盛岡の先人であり、政治家としても活躍した米内光政の言葉を紹介したいと思います。「どんな状況でも、いまを最高のものにするため行動しろ」この言葉は、その場、その時の状況を意義のあるものにするのは、自分の行動次第であるということです。逆境にめげず、努力を続けた米内光政を物語る、力強く前向きな言葉であると思います。

これから社会人となる皆さんには、世の中や身の回りで起きた問題を自己の問題として捉え、そこに意義を見出し、発展的に解決することができる、たくましい人になってほしいと思います。そのような姿勢が、皆さん自身が社会の一員として成長するための確かな一歩となり、市民や行政が一丸となって課題に向き合いまちづくりをしていく、市民協働社会の実現につながるものと期待しております。

結びに、皆さんが故郷・盛岡で培った思いやりの精神を忘れずに、責任と誇りを持って歩み続け、明るく可能性に満ちた社会を築く原動力となりますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

○ 二十歳の決意

二十歳の決意 二十歳代表 十良澤 優至 尾形 美侑

令和5年1月8日、私たちは二十歳のつどいの日を迎えました。

このような盛大な式典を開催していただきまして、ありがとうございます。また御臨席を賜りました盛岡市長様をはじめ、御来賓の皆様からの温かいお祝いと激励のお言葉をいただき、喜びとともに責任の重さを深く受け止め、決意を新たにしております。二十歳を迎えた者の代表といたしまして、心から感謝申し上げます。

二十歳という節目を迎え、これまでを振り返りますと、支えてくださったたくさんの方々を思い出します。大きな愛情で包み込んでくれた家族、時には優しく、時には厳しく

ご指導くださいました恩師の皆様、喜怒哀楽を共にし、切差琢磨した友人。その思い出の数々がかげがえのない財産であると感じています。

そこで、二十歳のつどいを迎えた本日、改めて「二十歳」について考えてみましょう。令和4年4月1日に改正民法が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられました。よって私たちは既に大人として社会に帰属していることとなります。二十歳の節目に、改めて、自分で決定権を持つ反面、そこに責任も伴い、社会の一員としての行動を求められるということを実感したいと思えます。そのような中で私が思うのは、責任を持つということの大切さです。二十歳になった私たちは、これから人に支えられるだけでなく、人を支えることも求められていきます。そのために自分のやるべきことや目標を明確にし、誠実に向き合うことが必要だと思えます。何かを成し遂げる時に周りの支えがあることを忘れず、さらに他の人を支える自覚と責任を持って二十歳として認めていただけるよう歩んでまいります。

さて、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活は大きく変化しました。行事の中止や、日常生活の制限が課せられてきたと思えますが、最近では社会的に規制が緩和されてきており、私たちが不自由なく心の赴くままに過ごすことができる日も近くなってきています。その時にもっと成長した自分でいられるよう、毎日を大切に生きていきたいと思えます。

現在私たちの中には、既に社会人として働き社会に貢献している人や、学生として勉学に励みこれから社会に出ようとしている人など、様々な環境でそれぞれの生活を送っていると思えます。この先社会の中では成功するばかりでなく、挫折や失敗を経験することもあるでしょう。その際にはこれまで培ってきた力を信じ、自らの選んだ道を歩んでいきましょう。それが今後の自分のためであると同時に、この故郷・盛岡を盛り上げる力になるでしょう。

最後になりますが、本日を迎えることができましたのは、家族や恩師、友人をはじめとした様々な方々、そしてこの故郷・盛岡のおかげであると感じています。自然豊かで、温かい人々のぬくもりに触れることができるこの盛岡で育ったことを誇りに思います。その誇りを胸に、社会の一員として希望に満ち溢れた未来を創っていけるよう、より一層精進していくことを誓い、二十歳の決意と致します。

◇ アトラクション（14時30分～14時50分）

二十歳のつどい実行委員会による企画プログラム

・実行委員による進行のもと、テーマ『紡ぐ～spin2.0～』に基づき作成した社会参加活動報告VTRの上映を行い、その後、特別ゲストとしてお笑い芸人のアンダーエイジさん、サプライズゲストとして天津木村さんに登場していただき、会場の参加者を巻き込んだ企画でアトラクションを盛り上げました。

◇ 記念誌

テーマ『紡ぐ～spin2.0～』のもと、実行委員会が企画・制作した記事を含む記念誌が二十歳のつどい参加者全員に配布されました。

【掲載内容】

- ・ 実行委員長挨拶・二十歳を祝う言葉・二十歳の決意
- ・ 社会参加活動報告
- ・ 盛岡のカフェ
- ・ 同世代 100人に聞いた！コロナから完全に解放されたら
したいこと
- ・ 結婚式のマナー
- ・ 各中学校からのメッセージ
- ・ 協賛スポンサー広告



◇ 盛岡市二十歳のつどい実行委員会

令和5年盛岡市二十歳のつどい実行委員会は、二十歳9人（社会人1人、学生8人）で活動しました。



令和5年盛岡市二十歳のつどい実行委員会のメンバー

実行委員会が行った主な活動内容は、次のとおりです。

○ 実行委員会議・広報活動

8月9日から二十歳のつどい当日までの約半年間、月に2～3回のペースで会議を開催しました。二十歳のつどい実行委員会では、盛岡の文化・歴史を次世代につなげていきたいという思いから糸をより合わせる様子を見出し、『紡ぐ～spin2.0～』をテーマとして設定し、記念誌・アトラクションの企画について、繰り返し話し合いが重ねました。

また、実行委員会の活動内容を周知するため、ラジオ出演などの広報活動を行いました。

○ 社会参加活動

令和4年10月に開業した新盛岡バスセンター及び令和5年4月開業予定のきたぎんボールパークやその関係機関取材し、それぞれの魅力について理解を深めた。活動の様子は、記念誌への掲載及びアトラクション内でのVTR上映で報告を行いました。

○ インスタグラム「盛岡という星で」とのコラボレーション

盛岡の魅力の発信を行っている「盛岡という星で」とコラボし、二十歳を迎える皆さんが盛岡で過ごしてきた時間を振り返る中で、持っている記憶を呼び起こしつつ、盛岡の良さを再認識してもらえよう、懐かしの場所とそれぞれの思い出をメインに投稿を行いました。

◇ YouTubeでのオンデマンド配信

○式典およびアトラクションの様子をYOUTUBEでオンデマンド配信を行いました。

- ・プレ配信 式典当日1月8日(日) 19:00頃～ 再生回数: 441回
- ・本配信 式典翌日1月9日(月) 12:00頃～ 再生回数: 1265回

※本配信: 編集を行い、テロップや全字幕を加えたもの

※再生回数は令和5年3月20日時点

◇ 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染症対策として、次の対策を行いました。

- ・式典等時間の短縮
- ・式典、アトラクションのオンデマンド配信
- ・来賓等出席者の減
- ・手指消毒、検温、マスク着用、座席間隔の確保
- ・座席のブロック指定制の導入
- ・規制退場の実施 等